

平成 26 年度日本原子力学会春の年会 第 40 回炉物理部会全体会議議事録

日時：平成 26 年 3 月 27 日（木）12:00-13:00

場所：東京都市大学 O 会場（1 号館 12N）

議事概要

1. 平成 25 年度炉物理部会 部会賞 表彰式

岡嶋部会長より、平成 25 年度の炉物理部会賞受賞者の選考過程について説明がなされた後、受賞者の遠藤知弘氏と左近敦士氏の両名に表彰状が授与された。

2. 平成 25 年度予算実績報告

佐野財務小委員会担当幹事より配布資料 40-1 に基づき平成 25 年度の予算実績の報告がなされた。

3. 「炉物理の研究」第 66 号の発行状況

桐村編集小委員会担当幹事より配布資料 40-2 に基づき「炉物理の研究」第 66 号の発行状況についての報告がなされた。4 月に発行の予定である。

4. 炉物理国際会議「PHYSOR2014」準備状況

辻本庶務幹事より、配布資料 40-3 に基づき炉物理国際会議「PHYSOR2014」の準備状況について報告がなされた。現在、同会議に投稿された論文の査読が行われている。岡嶋部会長より、査読を依頼されている部会員は年度末までになるべく多数の論文を査読して頂きたい旨の要請がなされた。

5. 平成 26 年度のフェローの選考について

平成 24 年度の炉物理部会長の岩崎智彦氏を炉物理部会からフェローに推薦し、すでに原子力学会よりフェローに認定されたことが報告された。

6. 日中韓ワークショップ開催の検討について

韓国側から日韓合同セッションを日中韓ワークショップに変更したい旨の打診があった件について、岡嶋部会長より以下の報告がなされた。

日韓合同セッションの過去の経緯の調査や核データ部会との意見交換をこれまで行ってきた。韓国側は、準備会合を今年の夏に開催し、来年に第 1 回日中韓ワークショップを韓国で開催することを希望している。また、PHYSOR が開催されない年に 2 年ごとに開催することが計画されている。今後、この件を平成 25 年度と 26 年度の運営小委員会に諮ったうえで、部会員の意見を聴く予定としている。それらを取りまとめて日本側の結論を得たうえで韓国側と交渉していく予定としている。

7. 平成 26 年度炉物理部会運営委員の選出

添付資料 40-5 に示された平成 26 年度炉物理部会運営委員案が承認された。また、新運営委員の自己紹介があった。

8. 平成 26 年度予算案

中里財務小委員会担当幹事より配布資料 40-6 に基づき、平成 25 年度の予算案の説明がなされ承認された。4 部会合同日韓サマースクールを今年は韓国で開催する予定となっており、学生、講師派遣旅費として 25 万円が計上されている。本サマースクールの日程等の調整が現在行われている。

9. 第 46 回炉物理夏期セミナーの企画

資料 40-7 に基づき、吉岡セミナー小委員会担当幹事より、第 46 回炉物理夏期セミナーの企画案が説明された。「未臨界と動特性の基礎と応用」をテーマとして、8 月 6 日～8 日に熱海で開催予定としている。

10. 秋の大会の部会企画セッションについて

次回秋の大会での部会企画セッションのテーマについて多田学術交流小委員会幹事からいくつかの案が提示され、議論の結果、炉物理分野の人材について、現状や将来課題をテーマとして取り上げることとなった。各部会員は情報提供など積極的に協力することとなった。多田幹事が企画セッション提案書案を作成し、部会員の意見を求めることとする。学会への提案書提出の締め切りは 4 月 16 日である。

11. その他

- 和文論文誌の投稿が少ないので積極的な投稿をお願いしたい。
- プログラム編成委員を炉物理部会から新たに 3 名選出する必要があるので協力をお願いしたい。

以上